

日 時：平成30年6月27日（水）13：30～15：00

場 所：山形県村山総合支庁本庁舎 402 会議室

1. 開会

司会（一般財団法人山形県理化学分析センター 松本さん）

本日はご多用のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。ただ今より、平成30年度美しい山形・最上川フォーラム通常総会を開会いたします。私は本総会の司会を務めさせていただきます、会員の一般財団法人山形県理化学分析センターの松本と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

はじめに、会長の柴田洋雄より、ご挨拶申し上げます。

2. 会長あいさつ

（柴田会長）

皆さん、こんにちは。天気予報では今日は非常に荒れて大嵐だということでしたが、幸い今は小雨になっています。庄内地方は大変な中、お出でいただきましてありがとうございます。

美しい山形・最上川フォーラムの一年間の活動が終わりまして、総会を開くことができるようになりました。総会と言うまでもなく、会員の皆さんの意見を反映し、我々が活動していく上での最高議決機関ですので、今日も是非、皆さんからいつもと同じように率直な意見を述べていただければありがたいと思っています。

昨年度の報告にもあると思いますが、生命保険協会ですべて初めて募集した「スポーティライフ大賞」に我々が実施している「スポ GOMI 大会」で応募したところ、全国でグランプリをいただきました。第1回目でグランプリをいただいたのはありがたいと思いました。表彰式に来てくださった副会長の方が、審査員をされていたらしくお話をいただいたのですが、生命保険協会では「スポーティライフ大賞」というと、いわゆるサッカーとかスポーツという感覚で社会に対して元気を与えるような内容を考えていたようです。「我々の活動の「スポ GOMI 大会」はスポーツ感覚で社会に参加する、そして参加した人が成長するというように楽しくゴミを拾って、拾うことにより将来的にもゴミを捨てなくなることや、チームで行うため仲間と相談すること、役割分担することなど仲間との協力関係でうまくいく。」ということも説明しました。そうしたら、単なるスポーツではなく、いろいろな活動の基本になっているのではないかと、副会長さんが、自分は審査委員長として、最上川フォーラムを選んで良かったと言ってくださり、大変嬉しく思いました。そして、我々が実施している「スポ GOMI 大会」について全国の評価を受けたことは、我々の会の活動というよりは、参加した人たちの活動、気持ちが評価されたということだと、これからも「スポ GOMI 大会」などの際、参加することがいかに意味があるかということで、これからも参加される方から元気をもらえと思っています。

ご案内のように最近ですと、アイスコーヒー等を飲む時に、使い捨てのストローを使わないようにしましょう、ストローを生産するのをやめようという取り組みが出てきています。なぜストロー

なのかと思うかもしれませんが、ストローが外に捨てられたときに、破壊され環境に悪さをします。これまではそのことが見落とされていましたが認識されて、世界でプラスチック関係のものについて、根本から見直そうと指摘してニュースになっている訳です。我々も海のゴミについては、魚や貝を通してホルモン異常を起こすのではないかという、環境が人間に対して悪さをするというのを、「スポ GOMI 大会」をする前の、ゴミ拾いした当初から考えて発言していましたが、今、全世界的にも認められるようになってきています。このように我々の活動は大げさに言うと、地球規模で進んでいくのではないかと考えているところです。我々の活動に参加していただいている多くの会員の皆さんにとっては、積極的に参加されていることが時代に合った、時代を先取りした活動であるということ、これからも会員の皆さんに報告しながら会を運営していきたいと思っています。美しい山形・最上川フォーラムは皆さんの協力によって成り立っている訳ですけれども、進んでいく方向については、間違いがないということを経理として申し上げられるのではないかと考えています。これをどれだけ進められるかということについては、会員の皆さんの協力があることですので、今日の総会もそうですが、皆さんからの協力をたくさんいただいて、積極的に進めていきたいと思っています。今日の総会に対してのご協力をよろしくお願いいたします。以上、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

司会（松本さん）

会長、ありがとうございました。

ここで、美しい山形・最上川フォーラム顧問である、吉村美栄子山形県知事よりご挨拶を頂戴したいと思います。山形県観光文化スポーツ部県民文化スポーツ課石川課長よりご披露をお願いいたします。

ご挨拶披露（石川課長）

皆さん、こんにちは。山形県県民文化スポーツ課 課長の石川と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。今日の総会につきましては、吉村知事にもご案内を頂戴しましたが、あいにく県議会中ということで出席できません。私がメッセージを預かってまいりましたので、ご披露、代読したいと思います。

平成 30 年度美しい山形・最上川フォーラム通常総会に多数の皆様から御出席いただき、ありがとうございます。

美しい山形・最上川フォーラムは、「美しい山形・最上川 100 年プラン」のもと、母なる川「最上川」を美しい山形づくりのシンボルに掲げ、水環境の保全や川が育む文化の継承、さらには最上川を活用した地域活性化の取組みを県全域で活発に進めてこられました。会員の皆様におかれましては、これらの取組みに日々御尽力いただいております。深く感謝の意を表する次第です。

フォーラムの様々な取組みは、企業や民間団体、学校、行政など多くの関係者の連携により行われており、まさに「県民総活躍」で地域の課題を解決する「協働」の代表的事例となっております。本年 2 月には、フォーラムの「スポ GOMI 大会」が、一般社団法人生命保険協会が主催する第 1 回スポーティライフ大賞の地域コミュニティ部門において最高賞のグランプリに輝きました。

スポーツとゴミ拾いを組み合わせ、誰もが気軽に参加でき、各地で展開されている点が高く評価されたものと大変喜ばしく思っております。

本県では、先月、東北では初めて「インターナショナル・ワイン・チャレンジ 2018 S A K E 部門」の審査会が開催され、10月には「全国農業担い手サミット in やまがた」の開催が予定されています。また、酒田港への外航クルーズ船の寄港も増加しております。このような国内外から本県を訪れる方々に、皆様が守り育てられている山形の美しさや魅力をアピールしてまいりたいと考えておりますので、引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、皆様と一緒に「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現に向け、次代を担う子どもたちや若者たちに、この美しい県土を後世に引き継いでいくため、これからも力強い活動が展開されることを期待いたしますとともに、皆様のますますの御活躍を心から祈念申し上げ、挨拶いたします。

平成 30 年 6 月 27 日 美しい山形・最上川フォーラム 顧問 山形県知事 吉村美栄子

本日は誠にありがとうございます。

司会（松本さん）

ありがとうございました。

次に本日出席の役員を紹介いたします。名簿順にご紹介いたします。

（役員を紹介）

なお、本日は県の関係の機関の方々にもご出席いただいております。

知事のご挨拶をご披露いただきました石川課長につきましては、ここで公務により退席となります。

それでは次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。総会の議長は、規約第 10 条第 3 項の規定により、会長が行うことになっております。柴田会長、議長席へお願いいたします。

3. 議事

議長（柴田会長）

それでは、次第の 3 番目にある議事に入らせていただきます。先ほども言いましたように皆さんから積極的なご意見をいただきたいと思っております。発言される場合は挙手をしていただき、その場に立ってお話しをしていただければと思っております。マイクを持って伺いますので、ご協力をよろしくお願いしたいと思います。

最初に本日の議事についての議事録署名人の指名を行いたいと思いますが、指名方法について何かご意見はないでしょうか。

（会場提案なし）

特になければ、私の方から進めてよろしいでしょうか。

(会場意義なし)

それでは、事務局から提案してください。

事務局（伊藤事務局長）

それでは、議事録署名人につきましては、武田厚子さんと原田清廣さんを提案いたします。

議長（柴田会長）

ただいま、武田さんと原田さんが推薦されましたけれども、このお二人を議事録署名人としてよろしいでしょうか。

(会場拍手)

議長（柴田会長）

それではお二人にお願いすることといたします。

(武田さんと原田さんを紹介)

よろしく申し上げます。

議長（柴田会長）

それでは議事に入らせていただきます。

(1) 平成 29 年度事業報告及び決算案

初めに第 1 号議案「平成 29 年度事業報告・決算案」について、それぞれの各部会長からその場で説明いただきたいと思います。まず、清流・環境対策部会からお願いします。

菅原部会長

それでは清流・環境対策部会から平成 29 年度の部会事業実施状況の報告を申し上げます。大まかに 5 つの事業を行っております。

まず、1 番目が「第 16 回身近な川や水辺の健康診断」です。県内各地域の水質や水辺の環境に対する県民の皆さまの関心を高めるため、国土交通省様の支援のもと実施いたしております。実施状況でございますが、一斉調査期間として、6 月 3 日から 11 日までで、学校などで調査の場合は 7 月 28 日としております。主な調査内容は、透視度計による透視度調査、パックテストによる水質調査、pH、COD、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リンでの 6 項目です。COD については、国土交通省と市民団体が連携して実施する「身近な水環境の全国一斉調査」の一環として実施しております。調査結果 50 地点分を提出して、全国データとリンクさせていただいております。また、水辺環境の簡易目視調査です。水生生物調査については、例年どおり、山形県環境科学研究センター様と連携して、希望グループについては「身近な川や水辺の健康診

断」との同時申込みが可能といたしております。参加申込みは 90 団体・1,256 名・241 箇所でしたが、結果は 87 団体・1,212 名・259 箇所で行った調査を実施しております。事業にご支援をいただいております。パックテストと比色カード（COD 以外の 5 項目）につきまして、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所様、酒田河川国道事務所様、新庄河川事務所様よりご支援をいただいております。また、公定法調査に計量証明機関からの協力をいただいております。公益社団法人山形県水質保全協会様、一般財団法人山形県理化学分析センター様、エヌエス環境株式会社様、株式会社テトラス様、東北環境株式会社様、株式会社東北サイエンス様、株式会社理研分析センター様でございます。参加者につきまして、調査サポートを行っております。参加団体からのご要請にお応えいたしまして、会員専門機関や地域部会等のご協力によりまして、18 団体に事前指導や現地にて水質調査や調査全般のサポートを行っております。協力いただいた協力会員様等は、公益社団法人山形県水質保全協会様、山形県環境科学研究センター様、心のふるさと新井田川の会様、置賜地域部会の元しらたかサイエンスクラブ代表様、村山地域部会、升形川に親しむ会様でございます。調査結果等は集計いたしまして例年どおり、公益社団法人山形県水質保全協会様の協力をいただきましてレーダーチャート等を作成し、ホームページ上の報告書「笑顔を写す山形の川」に掲載しております。概要版として、全県のデータを 1 枚の河川地図上にまとめたものを印刷して作成しております。あわせてフォーラムホームページ上にも同様に掲載いたしております。調査を実施した小学校へは、総合学習等の参考にしていただけるよう、調査結果報告書を受け取り後、早めにレーダーチャートを作成して送付しております。2 番目の事業「第 15 回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」でございます。河川や海岸等の散乱ゴミをカウントし、データを可視化することで、環境問題への意識を高め、改善を図るため実施しております。実施期間は 8 月～10 月まで。参加申し込み状況は 50 団体、1,521 名です。調査実施いたしました結果として、49 団体・1,517 名の参加をいただいております。データカード作成にご協力いただいたグループの活動経費の一部として、一律 3,000 円の支援をしております。活動の効率化を図るため、参加申込状況や調査結果をホームページ上の「最上川環境マップ」へ掲載し、随時更新いたしております。また、クリーンアップ全国事務局にデータを提供して、全国・国際レベルの研究データとしても活用されております。合わせて全国川ごみネットワーク主催の「全国水辺のごみ調査」へも情報を提供いたしております。イベントとのコラボレーションも実施しております。「AQUA SOCIAL FES!!2017」山形新聞社主催で、第 1 回が 6 月 17 日、鶴岡市由良海岸にて参加者 85 名で、「スポ GOMI 大会」も同時開催しております。第 2 回は 9 月 9 日、長井市道の駅「川のみなと長井」近隣最上川河川敷にて、参加者 60 名で行っております。「ふれんどしっふ水辺の郷サミット」は参加者 60 名をいただき、9 月 7 日に、中山町三郷堰頭首工最上川右岸河川敷で「スポ GOMI 大会」と同時に開催しております。3 回目の事業、「ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」」でございます。平成 25 年度から継続してございまして、「スポ GOMI 大会」を海岸漂着物問題対策の普及啓発として、県内各地で 20 大会を実施しております。「スポ GOMI 大会」が「生命保険協会の「スポーティライフ大賞」地域コミュニティ部門のグランプリを受賞いたしました。海岸漂着物問題普及啓発の実施をいたしております。「身近な川や水辺の健康診断」に参加する小・中・高校生等、14 団体に対して出張講座を実施いたしました。平成 29 年度河北町衛生指導員研修会にて、佐竹村山地域部会長が「山形県のゴミの現状について」と題しまして

講演しております。5月5日、参加者70名をいただいております。海岸漂着物問題対策との連携として、6月12日に山形県海岸漂着物対策推進協議会総会に出席。川ごみ団体との連携では、5月8日、「全国川ごみネットワーク」総会へ出席しております。また、1月18日、「河川ごみの削減方策に関するワークショップ」への出席等により会員として情報共有などを図っております。ホームページ「最上川環境マップ」の整備ですが、クリーンアップ活動の効率化を図るため、「クリーンアップキャンペーン」、「スポ GOMI 大会」の実施・予定日程、場所、結果をマップに掲載し、随時更新しております。4番目の事業として、「報告書「笑顔を写す山形の川」」を作成しております。「身近な川や水辺の健康診断」、「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」の結果等の報告書を作成し、28年度と同様に冊子での印刷は行わず、ホームページ上にデジタルブックとして掲載しております。また、「身近な川や水辺の健康診断」の結果は全県のデータを1枚の河川地図上にまとめた概要版のみ印刷することとしております。5番目の事業、「広報啓発」として、環境展のブースに出展し、清流・環境対策部会事業及び当フォーラムの活動の広報、環境保全の啓発に努めました。9月24日、鶴岡市小真木原運動公園での「環境フェアつるおか2017」ブース、10月28日～29日、山形市ビッグウイングにおける「やまがた環境展2017」のブースでございます。

以上、5つの事業について実施いたしました。以上でございます。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。質問等はこのあと、まとめていただきたいと思います。続きまして、最上川文化・地域活性化部会について本間さんからお願いします。

本間部会長

最上川文化・地域経済活性化部会の事業についてご報告させていただきます。8項目でございます。

まず、1つ目、「最上川夢の桜街道づくり」ですが、相談のあった2市1団体に対して、樹木医を派遣して現地にて調査。桜とその育成にかかわる周辺樹木の調査・指導を行い、維持管理を推進いたしました。桜守育成のための研修会をさらに広げ、桜守の養成のため、地域部会等と連携して「桜守養成講座」を開催いたしました。座学・実習を規定の時間受講した方に対しては認定書を発行しております。4月12日、9月27日、11月13日にそれぞれの会場で行っております。桜の研修会であります。4月15日、「上山桜の名所巡り研修」を樹木医の山田様のご案内で行っております。2つ目、「東日本大震災復興支援プロジェクト『東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り』」事業におきましては、当フォーラムと美しい多摩川フォーラムが中心となり設立した東北・夢の桜街道推進協議会の「第6回“美しき桜心の物語”の語り会」ですが、これまで毎年、福島から宮城、岩手、青森、秋田で開催してきて、山形が6回目ということになります。4月15日に山形県信用金庫協会様主催で、上山市の日本の宿古窯のコンベンションホールで行いました。参加者は約400名で、東北5県で行ってきて山形が最後ということで、最大人数であったのではないかと考えております。また、「東北・夢の桜街道推進協議会」平成29年度総会を、福島市「コラッセふくしま」にて開催しております。「東北夢の桜街道」に寄付をいただいた山形

信用金庫様のクリーンアップ活動が上山市の上山城で行われましたが、それにフォーラムも参加しております。3つ目、「夢の桜街道～さくら物語～」の発行ですが、事業報告を主とした機関誌をWeb Paperとして作成し、ホームページ上に掲載しております。4つ目、「夢の桜街道キャンペーン」ですが、4～5月にかけて協賛金融機関の協力により、各支店で実施しております。会員拡大のため、会員募集のポスターの掲示や資料・啓発物品の配布を行っております。30年度の啓発物品、ポスターは作成しないということになっております。5つ目、「写真コンテスト受賞作品写真展」であります。さくらの時期に合わせて、夢の桜街道写真コンテスト入賞作品の展示や「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」の紹介、桜維持管理事業の啓発を兼ねた写真展をご覧のとおり開催しております。6つ目、「舟運文化シンポジウム」ですが、置賜地域部会・最上川229ネットワークとの共催により「未来に広がる最上川229シンポジウム」として開催いたしました。次に7番目、「ホームページの更新」ですが、動画なども取り入れ、活動予定・報告を中心に随時更新。4月よりホームページをリニューアルし、スマートフォン対応にし、イベント等見やすくしております。最後であります、「地域おこしの紙芝居作成」は地域部会で行ってきた紙芝居をスキルアップしながら、地域を超えて繋いでいくということでもあります。以上、最上川文化・地域経済活性化部会としては以上のような事業を展開してまいりました。

議長（柴田会長）

ありがとうございます。続きまして、それぞれの地域部会の報告を各地域部会長さんからお願いします。最初は置賜地域部会です。

伊藤事務局長

置賜地域部会長さんが少し遅れておりますので、事務局からご報告申し上げます。

置賜地域部会につきましては、先ほどもお話がありましたが、舟運文化シンポジウム「未来に広がる最上川229シンポジウム」を共催、参加者90名で行っております。2番、「身近な川や水辺の健康診断」について、事前指導・調査当日のサポートを実施しております。元しらたかサイエンスクラブの高山代表におかれましては、大変ご尽力いただきましたが、亡くなられて大変、残念でございます。次に28年度に製作した紙芝居「桜の守り人」を7月11日に山形市大曾根コミュニティセンター、8月26日に最上川防災フェア、10月9日に白鷹町山口地区レンコン祭りなどで上演をしております。また、紙芝居「桜の守り人」が置賜地区自作視聴覚教材コンクール児童生徒作品部門で特選となりまして、山形県自作視聴覚教材コンクール児童生徒作品部門で入選しております。30年度全国大会に出品予定をしております。以上です。

議長（柴田会長）

続きまして村山地域部会お願いします。

佐竹村山地域部会長

村山地域部会の事業実施報告をさせていただきます。1つ目が「桜の維持管理活動への協力」といたしまして、上山市観光課主催の「上山桜の名所巡り研修」に協力をいたしました。先ほども

報告ありましたように、樹木医の山田寛爾様の案内で研修を行っております。2つ目、「スポ GOMI 大会」に運営スタッフとして参加協力しております。29年度は3回ほど、9月7日の「三郷堰土地改良区スポ GOMI 大会」、10月28日の「やまがた環境展 2017 スポ GOMI 大会」、11月18日の「天童市立中部小学校6学年行事」としてのスポ GOMI 大会に参加協力しております。3つ目、「身近な川や水辺の健康診断」へ現地調査のサポートの協力を行っております。6月12日に東根市立大森小学校、6月14日に東海大学山形高等学校、7月14日に西川町立西川小学校、7月10日に飯豊町立第一小学校にサポートとして参加しております。4つ目、海岸漂着物問題啓発として、1つは河北町衛生指導員研修会に部会から「山形県のごみの現状」と題して講演を行っております。2つ目は、寒河江市立三泉小学校で先に実施しておりました水質調査、クリーンアップ活動の結果のまとめをもとに出張講座を実施しております。その後、児童からゴミ削減啓発看板とリーフレットを作りたいという提案がありまして、村山総合支庁建設部西村山河川砂防課様のご協力をいただきまして作成しております。学校で看板の設置、学区内の家庭にリーフレットの配布などを行っております。最後に「～夢の桜街道～写真と灯りの展示会」の開催ということで、3月7日～27日、上山市役所の1階ロビーで、3月28日～4月4日に村山市飯葉プラザ1階ロビーで開催しております。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして、最上地域部会お願いします。

齋藤最上地域部会長

最上地域部会の事業を報告させていただきます。最上地域部会では平成19年度に「もがみの湧水マップ」を作成しております。その後10年ほど経っておりますので、その個所の現状調査を続けておりますが、29年度は県で募集している「里の名水・山形百選」に応募した7か所について、現地調査を実施しました。2番「身近な川や水辺の健康診断」については、升形川に親しむ会がサポートとして、新庄市立日新小学校に協力いたしております。次に「スポ GOMI 大会」はご覧のとおり、3回行っております。「桜守研修会」は、11月12日に山田寛爾様をお迎えして、金山町立有屋小学校で実技講習を実施しました。PTA会員を中心に37名の参加がございまして、実際にテングス病枝の伐採作業などを行っております。以上です。

議長（柴田会長）

続きまして庄内地域部会お願いします。

阿部庄内地域部会長

庄内地域部会は昨年度より、心のふるさと新井田川の会さんより、公益のふるさと創り鶴岡へ部会長が移っております。「身近な川や水辺の健康診断」の現地調査サポートについては、心のふるさと新井田川の会の会員の皆様から5か所で水質調査のサポートをしていただいております。次に「スポ GOMI 大会」については、6月、8月、9月に由良と湯野浜の海岸と、「環境フェアつるおか」の会場内で行っております。それから「内川学」という毎年行っている研究会であります。これは、当初は東北公益文科大学大学院の高谷研究室でやっていたのですが、NPO と共働して行っ

ていくということになり、9年目になっております。3月10日に開催しております。「ゴミ拾いはスポーツだ！」の「スポGOMI大会」の発案者の馬見塚健一さんからお越しいただき、「まちおこしの視点からみるスポGOMI」と題して、基調講演をしていただいております。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして、その他の報告事項につきまして、事務局長からお願いします。

伊藤事務局長

総会、運営委員会、部会でございますが、通常総会が6月28日、運営委員会が5月24日、11月27日、3月19日。それから合同部会が11月27日、3月19日に開催いたしております。

その他の委託事業・助成事業・連携事業などにつきましては、会計に関するものですので、一つずつ説明させていただきます。「平成29年度川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務委託」を山形県循環型社会推進課様から受託しております。委託料が3,236,400円で、スポGOMI大会の開催や海岸漂着物問題普及啓発の実施に使わせていただいております。「スポGOMI大会運営業務委託」は最上小国川清流未来推進機構様から、委託料は324,000円で、「最上小国川クリーンフェスティバル」スポGOMI大会を開催いたしております。3番、「やまがた社会貢献基金「協働助成事業（テーマ希望型）」」であります。テーマ名が「テルス株式会社様川と海をつなぐ美しい元気な山形づくり事業」であります。事業名が「未来へつなごう、美しい山形！クリーン大作戦」ということで、助成を430,000円いただいております。スポGOMI大会、3大会を開催しております。それから「クリーンアップ・キャンペーン」を実施しております。4番、「やまがた社会貢献基金「協働助成事業（テーマ希望型）」」でテーマ名が「うまい！を明日へ！郷土が誇る最上川と伝統文化保護・保全事業」です。これはアサヒビール株式会社山形支社様です。事業名が「未来へ広がる最上川229シンポジウム」、助成額が500,000円あります。「未来に広がる最上川229シンポジウム」を開催いたしております。5番、一般社団法人全国浄化槽団体連合会様の「水環境保全助成事業」であります。助成額が200,000円で、「身近な川や水辺の健康診断」を実施しております。6番、「東北夢の桜街道」寄付金でございます。これは山形信用金庫様から例年いただいております。金額が100,000円でございます。7番、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様の「eco保険証券・Web約款寄付活動寄付金」で、こちらも毎年いただいております。寄付額が221,970円あります。8番、会長からもお話がありましたが、生命保険協会様の「スポーティライフ大賞」地域コミュニティ部門グランプリ受賞です。賞金が300,000円あります。「スポGOMI大会」の活動で応募し、221団体の中から選出されました。9番、「山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加」で、6月12日に総会に参加しております。10番、「全国川ごみネットワークへの参加」で、会長が5月8日に総会に、1月18日の「河川ごみの削減方策に関するワークショップ」に出席しております。11番、「美しい多摩川フォーラム」との連携事業としまして、東北・夢の桜街道推進協議会のメンバーとして、「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り」の推進を行っております。12番、各種助成事業・基金への応募や寄付などの獲得、その活用を行っております。以上です。

議長（柴田会長）

続きまして、この29年度の決算案について説明をお願いします。

事務局（佐藤）

それでは事務局より平成29年度収支決算案をご説明いたします。

まず、収入の部です。会員の皆様からの会費収入が5,584,200円、県負担金400,000円、山形県循環型社会推進課様からの委託事業「川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務の委託料が3,236,400円、最上小国川清流未来振興機構様からの委託事業委託料が、324,000円、夢の桜街道積立金から2,500,000円、28年度からの繰越金が159,492円、諸収入としまして、やまがた社会貢献基金の「協働助成事業」「テルス株式会社様のテーマ希望型」の助成が430,000円、同じく、「アサヒビール株式会社山形支社様のテーマ希望型」の助成が500,000円、一般社団法人全国浄化槽団体連合会様の「水環境保全助成事業」の助成200,000円、山形信用金庫様の「東北夢の桜街道寄付金」100,000円、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様の「eco証券web約款寄付金」221,970円の各ご支援と、生命保険協会様の「スポーティライフ大賞」グランプリ受賞の賞金300,000円、そして預金利子20円を合わせまして諸収入合計額が1,751,990円で、収入の部の合計が13,956,082円となっております。

次に支出の部です。総会のご案内で皆様にお送りしております議案書の補正予算額の表のところが、(A+B)となっておりますが、(A)でご訂正いただければと思います。失礼いたしました。では、まず運営費ですが、8,779,348円です。内訳は①から⑤のとおりです。次に事業費は3,361,577円で、①から⑧の事業に充当し、各事業費はご覧のとおりとなっております。予備費として3,324円を「最上川流域地域づくり推進協議会」の会費として支出しております。その他に、夢の桜街道への積立金が1,700,000円となっております。以上、支出額合計が、13,844,249円となっております。そして、差し引き111,833円を平成30年度への繰越金とさせていただきます。また、各積立金につきましては、「フォーラム基盤強化積立金」の29年度の期末残高が2,110,973円、「夢の桜街道積立金」は1,700,000円となっております。以上簡単ですが、平成29年度の収支決算案の説明を終わります。

議長（柴田会長）

第1号議案の活動と決算案について説明がありましたが、活動と決算案について、監事の方から監査を受けております。監査結果についてのご報告をお願いします。

監事（大場監事）

監事を務めてさせていただいております、環境ネットやまがたの大場と申します。平成30年5月7日、月曜日に14時30分から私共の事務所に事務局で来ていただき、見せていただき、いろいろ説明をいただきました。その結果といたしまして、平成29年度収支決算書に基づき、帳簿及び証拠書類、その他を精査した結果、相違ないと認めました。また、平成29年度事業実績書に基づき、事業の内容について監査した結果、適正であったことを報告いたします。以上でござい

ます。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。これで、第1号議案についての説明が終わりましたが、皆さんからご質問、ご意見はないでしょうか。

（会場意見なし）

たくさん報告されたので、聞いているときは発言しようと思っていたけれども、ということがあるかもしれません。よろしいでしょうか。監事の方から事業実績についても報告をチェックされ、会計についても領収証等チェックして認めていただいておりますので、もしよろしければ、総会でも認めるということによろしいでしょうか。

（会場拍手）

議長（柴田会長）

ありがとうございました。皆さんのご異議がないようですので、第1号議案の「平成29年度事業報告及び決算案」については原案のとおり決定させていただきます。ありがとうございました。

（2）平成30年度事業計画案及び予算案

議長（柴田会長）

続いて、第2号議案「平成30年度事業計画案・予算案」についてです。「美しい元気な山形づくり」のもとに平成30年度も引き続き、環境保全と経済活動の活性化を両立させる活動を目指してまいります。事務局員は、昨年に引き続き2名体制で運営していきます。なお、事業計画ですが、期日が過去のものについては、実施済みとしてご了承ください。清流・環境対策部会から順に説明をお願いします。

菅原部会長

それでは平成30年度の清流・環境対策部会の事業計画を申し上げます。例年どおり引き続き、主要な5つの事業を行います。

1つは、「第17回身近な川や水辺の健康診断」です。実施予定は6月2日から6月10日。もう過ぎておりますが行っております。学校などで調査の場合は8月24日までで、昨年より日にちを延長しました。参加を広報し、100グループ・調査地点数250地点を想定いたしております。実施検討会を開催し、実施体制など詳細について検討・決定いたしました。4月20日、29年度と同様に国・県の関係行政機関、地域部会、大学、地域で環境保全活動に携わっている方々が参集し、実施詳細について検討し決定しております。これまでの調査に加え、外来種の情報提供を調査の内容に追加しております。調査補助指導者の派遣をしております。新規参加者や学校などで参加する場合に、要望があれば、地域部会や会員専門機関にご協力いただき、事前講習や現地調

査補助を積極的に行うこととしております。水生生物調査は例年どおり、主催の山形県環境科学研究センター様と連携し、希望グループについては、「身近な川や水辺の健康診断」との同時申込可能として募集いたしております。透視度計についても例年どおり、各地域において貸出担当者・場所についてご協力をいただき、参加者からの申し込み順に貸出しをしております。調査結果集計については、引き続き公益社団法人山形県水質保全協会様のご協力をいただき、「水辺診断書」としてレーダーチャートを作成することとしております。2番目が「第16回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」です。参加を広報し、参加グループ数は50～60グループを想定しております。10月まで実施いたします。1グループ当たり一律3,000円を支援いたします。イベントとのコラボレーションを継続し、波及効果を狙います。クリーンアップ全国事務局、全国川ごみネットワーク主催の「全国水辺のごみ調査」へデータを提供し結果を共有することといたします。3番目、「ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」」です。「スポ GOMI 大会」の開催を行います。海岸漂着物問題対策の普及啓発として、県内各地で市町村や地域の団体等と連携して開催いたします。「身近な川や水辺の健康診断」等の実施にあわせて、小中学生等に対して「海岸漂着物問題普及啓発出張講座」を行います。「大型ショッピングセンターでの海岸漂着物問題の普及啓発の実施」を行います。また、「山形県海岸漂着物推進協議会との連携」を行います。川ごみ団体との連携として、全国川ごみネットワーク総会、「川ごみサミット」等への参加いたします。5月16日～17日、川ごみネットワーク検討会へ出席いたしました。ホームページ「最上川環境マップ」の整備を行います。「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」、「スポ GOMI 大会」の参加申込みや結果を随時更新し、実施場所の効率化を図ります。4つ目の事業で「報告書「笑顔を写す山形の川」」を作成いたします。29年度と同様、冊子で作成していた報告書から変更し、「身近な川や水辺の健康診断」「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」の結果報告を作成し、ホームページにデジタルブックとして掲載し、WEB上で報告いたします。「身近な川や水辺の健康診断」については、全県の結果を1枚の河川地図上に表した概要版も印刷し作成いたします。5番目、「広報啓発」を行います。環境展のブースへの出展等の機会を活用し、清流・環境対策部会事業や当フォーラムの活動の広報、環境保全の啓発に努めてまいります。以上です。また、お手元にお配りしたチラシですが、ご紹介申し上げます。「ぽんぼこカード2018 スポ GOMI 大会」が7月21日、山形市城南町南追手前広場公園でございます。また、「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」の参加申込書で、募集の案内、裏面が申込書です。そのほか、後方に置いてありますが、「平成30年度山形県青年の家体験講座」として、「舞鶴山を知ろう」という企画がございます。8月5日に山形県青年の家・天童公園（舞鶴山）で中高生、一般を対象に行います。地域活動を行う上でためになる知識を学ぶ内容になっておりますが、「スポ GOMI 大会」も開催します。よろしく願いいたします。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして、最上川文化・地域経済活性化部会お願いします。

本間部会長

それでは、ご説明申し上げます。「最上川夢の桜街道づくり」は維持管理等の相談に関して、全

市町村から要望調査を行い、樹木医を派遣させていただく予定です。この計画につきましては、これまで樹木医の山田寛爾様がお一人で行っていましたが、手が回らないなどの場合があることも考え、先月、山形県みどり推進機構様に相談にお伺いしました。日本樹木医会山形県支部には16名ほどの樹木医がいらっしゃいます。置賜地区、新庄最上地区は樹木医のいない地区ですが、ほかの地区には在住していらっしゃいます。それらの先生の方々へもご協力いただけないかとお願いをしておりましたが、昨日、ご協力してくださるというご回答をいただいております。このようなことで、山田様お一人だったのが、手が回らない場合はこちらの方々に協力を要請することで考えております。次に桜守育成のための研修会「桜守養成講座」を11月11日、金山町で開催の予定をしております。前にも申し上げておりますが、一定の時間を受講した方には、認定書を発行いたします。次に「最上川夢の桜街道づくり地域活動支援事業」や樹木医の相談等がかかわりのある団体・市町村との桜の名所を巡る交流会等を行い、ネットワークづくりを支援することですが、4月19日に「長井の町風景観と桜巡り研修」が既に行われております。次に「東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」」ですが、「東北・夢の桜街道推進協議会」メンバーとして、桜をシンボルに東北の復興を目指した観光振興運動を行っていく予定であります。4月14日に上山城周辺、6月9日に寒河江駅前での山形信用金庫清掃活動に事務局、部長等で参加して対応させていただきました。2番として、「夢の桜街道～さくら物語～」です。29年度と同様に、事業報告を主とした機関誌として作成し、Web Paperでホームページ上に掲載してまいります。どのくらいの方が拝見して下さっているか懸念しておりますが、できるだけ皆さんから検索していただければありがたいと思っております。よろしくお願いたします。3番、「夢の桜街道キャンペーン」。こちらは会員募集であります。4～5月にかけて協賛金融機関各支店で実施、会員募集案内の掲示を行います。平成31年度の啓発物品は作成しないこととしたいと思います。4番、「写真コンテスト受賞作品写真展」であります。これまでの写真コンテスト受賞作品の貸出しを希望者に対して、随時例年どおり行いたいと思っております。「～夢の桜街道～写真と灯りの展示会」を「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヶ所巡り」の県内札所を撮影した写真コンテストの入賞作品を始め、東北・夢の桜街道の紹介、桜の維持管理事業の啓発も兼ねて行いました。先日、長井に行った際に、桜は古木の管理が非常に大変で、白鷹の鮎貝のエドヒガンザクラではない古木が今年枯れてしまったということをお聞きし、非常に残念だと思っておりました。5番目、「ホームページの更新」ですが、動画なども取り入れ、活動予定、報告などを中心に見やすいよう随時更新してまいりたいと思っております。6番目、「地域おこしの紙芝居作成」ですが、地域部会で行ってきた紙芝居を地域の若者等も交えて作成していくなど、スキルアップしながら継続してまいります。先ほどお話がありました「桜の守り人」を30年度自作視聴覚教材コンクール全国大会に出品しております。先だって役員で見させていただきましたが、手作りなので非常に味わいのある作品になっておりますので、機会があれば皆さんも是非ご覧になっていただければと思っております。最後に「最上川流域活動団体のデータベース化」です。最上川を始めとする県内の河川流域で活動する団体をまとめ、団体・県内外の参加や交流を促進するため、ホームページ上にコンテンツを作成しマッピングします。どこでどのような団体が活動していて、どんな資料や情報を得ることができるかなど、その団体の連絡先やイベント情報などを紹介し掲載してまいりたいということです。各地域部会などの協力をいただ

き、情報を集めて更新していく長期的な取組みを今年はスタートいたします。このような事業展開です。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして地域部会についての説明です。置賜地域部会からお願いします。

伊藤事務局長

それでは代理で説明いたします。置賜地域部会ですが、1つが「長井の町場景観と桜巡り研修」をもう、4月19日に実施しております。2番、「身近な川や水辺の健康診断」の調査サポート等への協力を引き続き行ってまいります。3番、先ほども話ありましたが、「最上川にまつわる紙芝居づくり」の検討。4番、「スポ GOMI 大会」への協力ということで、9月8日の長井市でのスポーツ推進員大会で予定をしております。以上です。

議長（柴田会長）

続きまして、村山地域部会をお願いします。

佐竹村山地域部会長

村山地域部会ですが、1つ目は昨年度の3月からの引き続きの事業ですけれども、「～夢の桜街道～写真と灯りの展示会」で、4月5日～20日まで東根市の寿屋壽香蔵で開催しております。2つ目ですが、桜の維持管理活動への協力を継続して行ってまいりたいと考えております。3つ目、村山地域で開催される「スポ GOMI 大会」へスタッフとして参加協力をしてまいります。現在のところ、7月から11月まで7大会ほど予定されております。4番目が「やまがた環境展」出展の際にスタッフとして参加協力してまいります。5番目、「身近な川や水辺の健康診断」の現地調査サポートを前年度に引き続き、参加団体の要請があれば実施してまいります。最後に「紙芝居づくりワークショップへの参画」ということで、置賜地域部会が活発に活動していますが、村山地域においても実施してまいりたいと思っております。以上です。

議長（柴田会長）

続きまして、最上地域部会をお願いします。

齋藤最上地域部会長

最上地域部会でございます。「湧水地の標柱立て」として、報告にもございましたが、調査した中で標柱が古くなってしまったり、紛失している場所に、今年は5か所で立て直しをいたしました。次に、「もがみの湧水調査会」は、今年度は、新庄市1か所、戸沢村2か所、大蔵村2か所で実施しております。21名の参加をいただきました。「スポ GOMI 大会」はご覧のとおり、2回行いました。「桜を守り育てる研修会」ですが、例年、遊学の森案内人会と共催で金山町にて実施しておりますが、昨日連絡がありまして、1週間遅らせて、11月18日に開催する予定になりました。

また、「桜の調査」を今年度から遊学の森案内人会を中心にして始めております。この調査をもとにして、また何年間か継続して「桜を守り育てる研修会」が実施できるのではないかと考えております。「身近な川や水辺の健康診断」ですが、2つの小学校に升形川に親しむ会、千門町蛍の会が対応して、調査サポートを実施する予定になっております。4つは既に活動が終了しております。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして、庄内地域部会をお願いします。

阿部庄内地域部会長

庄内地域部会です。1番目が昨年度に引き続き、「身近な川や水辺の健康診断」です。また今年度も、心のふるさと新井田川の会の皆さんより、サポートをしていただいております。それから、「スポGOMI大会」ですが、6月16日に「TOYOTA SOCIAL FES!」を由良地区で開催しております。6月23日に山形県スポーツ推進委員研究大会で、実践研修としてスポGOMI大会を実施しております。それから9月の「環境フェアつるおか大会」ですが、今年度は鶴岡市がクールチョイスの事業に認定されまして、内閣府から予算をいただいて大きく行う予定でございます。それから、9月1日に由良大会・2日に湯野浜大会を行う予定です。この大会は、「スポGOMI大会」の発案者の馬見塚さんをお呼びして、公式戦として全国に呼び掛けて行ってみたいと企画を提案しております。それから、「内川学」が10年目になりますので、節目ということで大きく行いたいと、企画しているところです。3月に実施する予定です。最後に「桜の育成維持管理研修会」でございますが、地域でモデル的に開催を検討しているところです。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。その他のことについて事務局長からお願いします。

伊藤事務局長

総会、運営委員会、部会でございますが、通常総会は本日であります。運営委員会は既に5月21日に1回開催しております。これから、11月と3月に開催予定です。合同部会も11月、3月に開催予定です。

その他、委託事業・助成事業・連携事業などございますが、1番の山形県委託事業は事業名が前年同様、「平成30年度川～海をつなぐ「美しい山形づくり」業務」であります。これにつきましては、既に決定をしておまして、3,493,700円を受託しております。2番、「山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加」を引き続き行ってまいりたいと考えております。3番、東北・夢の桜街道推進協議会のメンバーとして「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヵ所巡り」の推進を引き続き行ってまいります。それから、全国川ごみネットワークとの連携も行ってまいります。5番でございますが、各種助成事業・基金への応募や、寄付などの獲得、その活用を行うということで、「山形市コミュニティファンド」は45,000円の助成が採択されました。それから、一般社団法人全国浄化槽団体連合会様の「水環境保全助成事業」については申請申し込みをしている

ところです。それから、山形信用金庫様の「東北夢の桜街道」寄付金でございますが、先般、100,000円をいただいております。なお、この山形市コミュニティファンドと山形信用金庫様の寄付金につきましては、次の予算書にはまだ計上しておりませんので、ご了承いただきたいと思います。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございます。続きまして、これらの事業を行う上での「平成30年度美しい山形・最上川フォーラム収支予算案」がありますので、これについて事務局から説明させていただきます。

事務局（佐藤）

それでは平成30年度収支予算案をご説明いたします。

はじめに、収入の部です。会費収入が5,300,000円、県の負担金が前年度と同様、400,000円、山形県の委託事業「川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務」の委託料が3,493,700円、夢の桜街道積立金より1,700,000円、フォーラム基盤強化積立金より964,000円、29年度からの繰越金が111,833円、諸収入には預金利子など467円で、以上収入の合計額は、11,970,000円となっております。なお、今事務局長から「助成事業」のところで説明ありましたように、この議案の予算書作成以後に、山形市コミュニティファンド補助事業（団体補助）の支援事業といたしまして採択されました補助金45,000円と山形信用金庫様からの「東北夢の桜街道寄附金」100,000円のご支援がありました。こちらと先ほどお話ありました申請中の一般社団法人全国浄化槽団体連合会様の助成事業など採択されましたら、補正で対応させていただく予定をしております。

次に、支出の部です。運営費が9,050,000円で、内訳は交通費150,000円、需用費400,000円、役務費700,000万円、使用料は事務局賃借料を含めまして、600,000円、事務局費は事務局員2名分の給与、社会保険料、雇用保険料等といたしまして7,200,000円を見込んでおります。事業費は2,910,000円で、内訳は①～⑧のとおりです。予備費が10,000円で、支出合計額は11,970,000円です。

また、積立金の期首残高につきましては、「フォーラム基盤強化積立金」が2,110,973円、収入の部に計上しておりますけれども、夢の桜街道積立金1,700,000円です。以上で平成30年度収支予算案のご説明を終わります。

議長（柴田会長）

ありがとうございます。これまで第2号議案の「平成30年度事業計画及び収支予算案」について、説明いたしましたが、皆さまからご質問、ご意見はありませんでしょうか。

（会場意見なし）

よろしいでしょうか。総会では、新年度事業案が出ておりますので、この場で新しいことをやって欲しいと言われると、急に取り入れることは難しいことがあります。これからもいろいろ

やりたいことが出てくると思います。その時は部会で提案してもらおうと、その中でいろいろ議論をして、次の総会に原案として出せると思っています。今日のお話を聞いて、何かしたいときに自分たちの希望が実現するような形に繋がっていないのではないかと疑問に思うかもしれませんが、部会または事務局に事前に伝えていただくと役員会で検討しますので、新しい事業等については積極的に提案していただくとありがたいと思っていますところです。最上川文化・地域経済活性化部会の「最上川夢の桜街道」事業について、説明がありましたが、樹木医についてこれまでお一人だったのが、不足するものがあればご協力をいただけることになっております。桜については樹木医に相談しながら行わないと難しい部分もあるかと思っています。これについては、県内の35市町村に要望調査をして行っていくので、地域部会等で管内の市町村に希望がないかどうかお話していただければありがたいと思っていますところです。本年度についてはこれから募集をかけるところですが、市町村から各団体に案内をし、市町村の方も参加していただくとありがたいのですが、市町村と地域のボランティアの人たちが協力をして、樹木医を派遣して桜を活かす活動をぜひ進めていきたいと思っています。16名の樹木医の方に、我々とすれば、手が足りなくなるのではないかという想定でお願いしているのです、是非皆さんから各地域についてお話いただければありがたいです。

そのほかないでしょうか。

(会場意見なし)

なければ、今日説明したことを30年度の事業として行うということと、その裏づけとしての収支予算案も、今説明したような形で、これから入ってくるものがあるかもしれませんが、このような大枠で進めるということについて、皆さんのご了承を得られたということでもよろしいでしょうか。

(会場拍手)

ありがとうございました。平成30年度も今説明したような形で進めていきたいと思っております。

本日の議事は第1号議案と第2号議案の2つで、議事はこれで終わらせていただきます。

4. その他

議長（柴田会長）

その他がありますので、これについて説明をください。

伊藤事務局長

報告事項といたしまして、会員の状況でございます。1年前から比較いたしますと、団体法人も含めまして143名減少しており、3,850会員となっております。この状況ですけれども、人口減少、少子高齢化などからの影響も非常に受けていると感じております。そのような訳で、決算・

予算を見ていただきましたが、財政基盤が非常に厳しく、取り崩しをしながら運営しているところでございます。事務局が2人おりますが、対応も非常に忙しくやっております。お金を出すばかりでなく、方々に行って支援等をさせていただいておりますので、このような状況から2名体制は維持していかなければならないこと。また一方、財政基盤が非常に厳しいということで、何とか改善をしないといけないということも問題意識として持っております。是非会員の増強をよろしくお願ひしたいと思っております。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございます。高齢化が進んでいるということで、高齢者が増えていることが好ましくないように思われていますが、高齢者が増えることは悪いことばかりではない気がします。今まで拘束されていた時間が自由に使えるようになる。けれども、自由に使えるようになっていながら自由に使っていないことがあるのではないかと、老婆心ですが思っております。長生きをしたいときにはどうしたら良いかについて、最近国際的な調査が行われて、「人に親切にする」「ほかの人と話をする」ということが長生きの元だとのことです。これまでは「運動をする」「栄養」とか言われていたのですが、人に親切にして「ありがとう」とか「あなたのおかげだ」とかと言われる方が長生きできるとのことです。日本には元気な高齢者がたくさんいますので、その人たちが長生きをしていただくために、できる範囲で我々と一緒に参加してもらって、皆から「ありがとう」と言われる形が良いのではないかと思います。来てくれて、ゴミ一つでも拾ってもらっただけでもありがたい。「元気で美しい山形づくり」を進めるにあたって、我々は差し当たり、高齢者にもっと参加してもらうことはないか、そしてもっと余裕があれば、会員になってくださるとありがたいと思っております。そこまでは望まなくとも、ゴミ拾いに参加してくれて、「ありがとう」と言われ長生きをすれば市町村の医療費も下がり、社会貢献できるので、最上川フォーラムも高齢者にも、もっと愛される活動を進めて行きたいと思っております。自分が高齢者なので、中心に考えているように思われますが、皆さんも時間がたてば高齢者になるので、社会に参加して「ありがとう」と言われ、長生きしましょうということで今日は終わらせていただきたいと思います。

これで議長の職を終わらせていただきます。ありがとうございます。

(会場拍手)

司会（松本さん）

柴田会長ありがとうございます。以上をもちまして、平成30年度美しい山形・最上川フォーラム通常総会を閉会いたします。長時間にわたるご審議、誠にありがとうございました。

(会場拍手)